

折に触れ 四字熟語

NO. 69 〔金碧輝煌〕 きんぺき きこう

< 意味 > 金色と緑色とがまばゆく光り輝くこと。目を奪われるほど華麗なものの形容。関係のこと。
「金碧相輝（きんぺきそうき）」「金碧爛然（きんぺきらんぜん）」も同じ意味です。

語 釈：「金碧」は黄金と碧玉。「輝煌」は光り輝くこと。

一 言：金シリーズ その2

平昌冬季オリンピックの勝者が掲げる金メダルは、特殊な加工がされているのですが、
燦然と輝いていました。

古代中国において、貴重な宝物としては金に加えて「碧」も珍重されたようです。

参照文献：岩波書店「四字熟語辞典」